

ロボット・メカトロニクス学科 3年生 履修説明

内容

- 4年間で卒業するために必要な条件
 - 卒業研究履修の資格
 - 卒業要件
- 履修登録
- 進級のための単位数の目安
- まとめ

4年間で卒業するために必要な条件

- 卒業研究履修の資格
- 卒業要件
- GPA
- 研究室配属条件

卒業研究履修の資格

- 4年次に開講される必修科目「卒業研究」を履修するための条件
 - 3年次終了時までには満たさなければならない
 - 満たせなかった場合は、3年次留年が確定する

卒業研究履修の資格

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科

2023年度入学生 卒業研究履修の資格

4年次において卒業研究を履修するためには、次表に示す条件を満たしていなければならない。

一般コース		教員養成コース	
必要単位数 共通基盤	104単位以上 26単位以上	必要単位数 共通基盤	110単位以上 30単位以上
修得していなければならない科目		修得していなければならない科目	
スタディスキル キャリア設計 キャリア開発	3科目	スタディスキル キャリア設計 キャリア開発	3科目
基礎電気回路 回路設計入門 組み込みソフトウェア設計 情報通信技術 センサ工学 プログラミング 応用力学 ロボット工学概論 設計製図	9科目	基礎電気回路 回路設計入門 組み込みソフトウェア設計 情報通信技術 センサ工学 プログラミング 応用力学 ロボット工学概論 設計製図	9科目
機構学 材料力学 機械力学 制御工学 C A D アナログ回路 デジタル回路 ロボットシミュレーション ロボット運動学 組み込み機器入門 Android開発入門 加齢と運動機能 身体動作の科学	13科目中6科目	機構学 材料力学 機械力学 制御工学 C A D アナログ回路 デジタル回路 ロボットシミュレーション ロボット運動学 組み込み機器入門 Android開発入門 加齢と運動機能 身体動作の科学	13科目中6科目
		工業概論 職業指導Ⅰ 職業指導Ⅱ 工業科教育法Ⅰ 工業科教育法Ⅱ	C群5科目またはD群10科目中から3科目
		機械概論 電気概論 栽培概論 情報とコンピュータ概論 金属加工概論 木材加工概論 技術科教育法Ⅰ 技術科教育法Ⅱ 技術科教育法Ⅲ 技術科教育法Ⅳ	d群

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科 (ロボットクリエイター特別専攻)

2023年度入学生 卒業研究履修の資格

4年次において卒業研究を履修するためには、次表に示す条件を満たしていなければならない。

3年次終了時の必要単位数 104単位 (共通基盤教育: 30単位以上を含む)	
修得していなければならない科目	
スタディスキル 新聞理解表現演習Ⅰ 新聞理解表現演習Ⅱ 実践プレゼンテーション・スキル 社会時事討論演習 グローバルコミュニケーション 社会経済事情 情報リテラシー キャリア設計 キャリア開発 早期インターンシップ準備演習 早期インターンシップ	12科目中10科目
ReadingⅠ ReadingⅡ ReadingⅢ ReadingⅣ ListeningⅠ ListeningⅡ ListeningⅢ ListeningⅣ 科学技術英語Ⅰ 科学技術英語Ⅱ Reading and Listening A-Ⅰ Reading and Listening A-Ⅱ Reading and Listening B-Ⅰ Reading and Listening B-Ⅱ	14科目中10科目
解析学Ⅰ 線形代数 確率統計 物理学A	4科目
ロボットクリエイター養成ゼミⅠ ロボットクリエイター養成ゼミⅡ ロボットクリエイター養成ゼミⅢ ロボットクリエイター養成ゼミⅣ ロボットクリエイター養成ゼミⅤ ロボットクリエイター養成ゼミⅥ 次世代ロボット開発Ⅰ (ロボット機械要素技術) 次世代ロボット開発Ⅱ (ロボット電子要素技術) 次世代ロボット開発Ⅲ (ロボット制御技術) 次世代ロボット開発Ⅳ (ロボット通信技術) 次世代ロボット開発Ⅴ (自律ロボット技術) 次世代ロボット開発Ⅵ (ロボット知能化技術)	12科目
機構学 材料力学 機械力学 制御工学 C A D アナログ回路 デジタル回路 ロボットシミュレーション ロボット運動学 組み込み機器入門 Android開発入門 加齢と運動機能 身体動作の科学	13科目中6科目

履修要綱に記載

コースによって、
必要単位数や科目
数が異なります
(次ページ参照)

卒業研究履修に必要な単位数

- Sコース（一般コース）
 - 必要単位数 104単位以上
 - 共通基盤 26単位以上
- Eコース（教員養成コース）
 - 必要単位数 110単位以上
 - 共通基盤 30単位以上
- Tコース（特別専攻コース）
 - 必要単位数 104単位以上
 - 共通基盤 30単位以上

各コースで単位数が異なる

成績表での卒研履修資格の確認

区 分	卒業要件	前年度未修得	当年度修得単位	計	卒業不足 単位数	卒研不足 単位数
導入系	1	1		1		
倫理系	2				2	
人文社会系	10	6	2	8	4	
倫理人社自由	2					
健康スポーツ系	1	1		1		
英語基礎系	4	2	1	3	1	
言語応用系	3		2	2	1	
数理情報系	6	4	2	6	2	
キャリア系	3	3		3		
共通基盤選択	-					
共通基盤合計	32	17	7	24	10	2
専門導入必修	-					
専門導入選必	-					
専門導入選択	-	7	5	12		
専門基礎必修	18	10	4	14	4	
専門基礎選必	-					
専門基礎選択	-	4		4		
専門 必修	8				8	
専門 選必	20		6	6	14	
専門 選択	-	8	4	12		
専門教育選択	36				8	
任意	10				8	
総合計	124	46	26	72	52	32

「卒研不足単位数」

3年終了時まで
すべてを0（空欄）
するのが最低条件

卒研着手条件科目不足科目数 (6)

GPA 学期末 (3.12) 累計 (3.38)

遠隔授業修得単位数 (12)

卒業要件

- 卒業するために必要な単位を示す
 - この要件を満たさないと卒業できません

卒業要件

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科（一般コース）

2023年度入学生 卒業要件

教 育 区 分			必修別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導 入 系		必修	1
	倫 理 系		選択	2
	人 文 社 会 系		必修	2
		a群	選択	4
		b群	選択	2
		c群	選択	2
	倫理系、人文社会系（自由選択）		選択	2
	健康・スポーツ系		選択	1
	英 語 基 礎 系		選択	4
	言 語 応 用 系		選択	3
	数 理 情 報 系		必修	6
	キ ャ リ ア 系		必修	3
			(小計)	(32)
専 門 教 育			必修	26
	□ロボット・人間特性応用科目群		選必	18
			選択	38
				(小計)
任 意				10
合 計				124

注 1）任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他コース・他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職に関する一部修得単位

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科（教員養成コース）

2023年度入学生 卒業要件

教 育 区 分		必修別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導 入 系	必修	1
	倫 理 系	選択	2
	人 文 社 会 系	必修	2
		a群	2
		選択	6
		b群	4
		c群	4
	倫理系、人文社会系（自由選択）	選択	—
	健康・スポーツ系	必修	2
	英 語 基 礎 系	選択	4
	言 語 応 用 系	必修	2
	数 理 情 報 系	必修	6
専 門 教 育	キ ャ リ ア 系	必修	3
	(小計)		(38)
	□ロボット・人間特性応用科目群	必修	26
		選必	18
		選択	8
	教 職 科 目 群	選択	30
(小計)			(82)
任 意			10
合 計			130

注 1）教員養成コースにおいて、「教育の基礎的理解に関する科目等」の内、以下の科目については、それぞれ該当する共通基盤 a～c 群のいずれかの単位として含めることができる。

共通基盤 a 群：「教職概論」、「学校と教育の歴史」および「教育心理学」

共通基盤 b 群：「教育相談」および「教育課程論」

共通基盤 c 群：「教育行政論」および「総合的な学習の時間の理論と実践」

注 2）任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他コース・他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職に関する一部修得単位

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科（ロボットクリエイタ特別専攻）

2023年度入学生 卒業要件

教 育 区 分			必修別	卒業必要単位数
共通基盤教育	導 入 系		必修	1
	倫 理 系		選必	2
	人 文 社 会 系		必修	6
		a 群	選択	2
		b 群	選択	2
		c 群	選択	2
	健康・スポーツ系		選択	1
	英 語 基 礎 系		必修	8
	言 語 応 用 系		必修	6
	数 理 情 報 系		必修	2
	キ ャ リ ア 系		必修	6
			(小計)	(38)
専 門 教 育	専門基礎導入		必修	11
		a 群	選必	2
		b 群	選必	2
	専門基礎・専門		必修	28
		□ロボット・人間特性応用科目群	選必	18
			選択	22
任 意				3
合 計				124

注 1）任意とは、以下の修得単位を示す。

共通基盤教育・専門教育の卒業要件をオーバーした修得単位、他コース・他学科・他大学科目、外国語系科目、留学生科目、Stop the CO₂プログラム科目、自由科目、教職に関する一部修得単位

履修要綱に記載

成績表での卒業要件の確認

区 分	卒業要件	前年度未修得	当年度修得単位	計	卒業不足単位数	卒研不足単位数
導入系	1	1		1		
倫理系	2				2	
人文社会系	10	6	2	8	4	
倫理人社自由	2					
健康スポーツ系	1	1		1		
英語基礎系	4	2	1	3	1	
言語応用系	3		2	2	1	
数理情報系	6	4	2	6	2	
キャリア系	3	3		3		
共通基盤選択	-					
共通基盤合計	32	17	7	24	10	2
専門導入必修	-					
専門導入選必	-					
専門導入選択	-	7	5	12		
専門基礎必修	18	10	4	14	4	
専門基礎選必	-					
専門基礎選択	-	4		4		
専門 必修	8				8	
専門 選必	20		6	6	14	
専門 選択	-	8	4	12		
専門教育選択	36				8	
任意	10				8	
総合計	124	46	26	72	52	32

「卒業要件」

卒研着手条件科目不足科目数 (6)

GPA 学期末 (3.12) 累計 (3.38)

遠隔授業修得単位数 (12)

成績表での卒業要件の確認

区 分	卒業要件	前年度末修得	当年度修得単位	計	卒業不足 単位数	卒研不足 単位数
導入系	1	1		1		
倫理系	2				2	
人文社会系	10	6	2	8	4	
倫理人社自由	2					
健康スポーツ系	1	1		1		
英語基礎系	4	2	1	3	1	
言語応用系	3		2	2	1	
数理情報系	6	4	2	6	2	
キャリア系	3	3		3		
共通基盤選択	-					
共通基盤合計	32	17	7	24	10	2
専門導入必修	-					
専門導入選必	-					
専門導入選択	-	7	5	12		
専門基礎必修	18	10	4	14	4	
専門基礎選必	-					
専門基礎選択	-	4		4		
専門 必修	8				8	
専門 選必	20		6	6	14	
専門 選択	-	8	4	12		
専門教育選択	36				8	
任意	10				8	
総合計	124	46	26	72	52	32

「卒業不足単位数」

卒業(4年終了時)までに
枠内の値を
すべて「0(空欄)」
にしなければならない

4年次での就職活動を円滑にするために、3年次で「卒業要件」を満たす、つまり成績表の「卒業不足単位数」を0にすることが理想です。
ただし、3年次終了時に「専門必修」には、4年次の必修科目の8単位が残ります。

卒研着手条件科目不足科目数 (6)

GPA 学期末 (3.12) 累計 (3.38)

遠隔授業修得単位数 (12)

その他, 成績表で分かること ①

区 分	卒業要件	前年度未修得	当年度修得単位	計	卒業不足 単位数	卒研不足 単位数
導入系	1	1		1		
倫理系	2				2	
人文社会系	10	6	2	8	4	
倫理人社自由	2					
健康スポーツ系	1	1		1		
英語基礎系	4	2	1	3	1	
言語応用系	3		2	2	1	
数理情報系	6	4	2	6	2	
キャリア系	3	3		3		
共通基盤選択	-					
共通基盤合計	32	17	7	24	10	2
専門導入必修	-					
専門導入選必	-					
専門導入選択	-	7	5	12		
専門基礎必修	18	10	4	14	4	
専門基礎選必	-					
専門基礎選択	-	4		4		
専門 必修	8				8	
専門 選必	20		6	6	14	
専門 選択	-	8	4	12		
専門教育選択	36				8	
任意	10				8	
総合計	124	46	26	72	52	32

卒研着手条件科目不足科目数 (6)

GPA 学期末 (3.12) 累計 (3.38)

遠隔授業修得単位数 (12)

GPA

各科目の成績評価 (Grade) に加重点 (Point) を付与し, それに単位数を掛け, 取得したポイントの合計を履修合計単位数で割った1単位当たりの平均値

S : 4点 A : 3点 B : 2点
C : 1点 それ以外 : 0点

ただし, 内容が容易な科目は0.5マイナス, 難しい科目は0.5プラスされるものもある。
→ ガイドブック参照

GPAの使い道

履修単位数の加算 （2024年入学生 以降が対象）

GPAによって次年度の履修単位数を増やすことができます

成績優秀者

GPAによって学年順位が決定し、1位の学生に与えられる

飛び級

GPAや単位数、業績（学会発表など）により可能

大学院推薦

GPAによって学年順位が決定し、上位1/2の学生が推薦される

研究室配属条件

- 3年生・前期終了時の単位数が85単位以上の学生は3年生の後期に実施される研究室配属第1次募集において希望する研究室に応募できます。
 - 11月に研究室配属ガイダンスが予定されています
 - 下限単位数が変更される可能性があります
- 85単位未満の学生は、卒業研究履修資格が満たして4年生になれば、4月のガイダンス時に実施される研究室配属第2次募集に応募できます。

履修登録

- CAP制
- 選択必修科目

履修登録

- 授業を受けるために、前期の授業開始前に履修登録を行う必要があります。
- 履修登録をしていない科目は、受講しても試験を受けることができません。
- 履修登録を絶対に忘れず、間違えないようにする。
- 前期に1年間の履修登録を行いますが、後期の履修修正期間に後期分の履修登録を修正することができます。
- 履修登録にあたり、CAP制を守る必要があります。

履修での注意（CAP制）

■ CAP制

- 履修単位数の上限が決まっています
- 予習・復習に必要な時間を十分に確保し，所属年次に配当されている科目をその年度で単位修得することが目的です。

履修単位数上限	
年間	半期
48	26

※2024年度入学生より，年間44単位，半期24単位になります

CAP制の適用を受けない科目 (CAP外科目)

- 以下のようなCAP制の適用を受けない科目があり，年間44単位を超えた単位修得ができます。
 - 集中講義科目
 - 単位認定科目
(プロジェクト研究，海外研修，資格検定)
 - 放送大学
 - 教職に関する科目
 - Stop the CO2専用科目群

選択必修科目

- 「卒業要件」や「卒業研究履修の資格」に関わる選択必修科目を落とし、留年してしまうケースが見られます。
- 次の数値で確認できます
 - 「卒業要件」は、**専門選必修欄**
 - 「卒業研究履修の資格」は、**卒研着手条件科目不足科目数**
- もし足りないときは、後期に履修しましょう。

進級のための単位数の目安

- 一般コース
- 教員養成コース
- 特別専攻コース

進級のための単位数の目安

■ Sコース（一般コース）



学籍について

- 学則において、次のように定められています
- 在学年数 ： 通算8年（留年含む）
- 休学年数 ： 通算4年

まとめ

- 3年次終了までに「卒業研究履修の資格」を満たす必要があります。満たせなかった場合、留年となります。
- 3年次で「卒業要件」を満たすことが理想。つまり成績表の「卒業不足単位数」を0にする（4年次必修8単位を除く）。
- 3年生・前期終了時の単位数が85単位以上の学生は3年生の後期に実施される研究室配属第1次募集において希望する研究室に応募できます。
 - 11月にガイダンスを行います